

平成27年度 高等部卒業生の進路状況について

向日が丘支援学校高等部 進路指導部

	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	合計
生活介護	1	4	1		6
就労継続B型	3	3	1		7
就労継続A型	1見込み	2・1見込み			4
就労移行	1	1見込み			2
就職	1見込み	1見込み			2
合計	7	12	2		21

- ・今年度「生活介護」は、ひまわり園ワークの受け入れがあり、希望がかないました。
 来年度は、肢体障害の定員の空きがあるだけです。(ひまわり園つむぎ①、乙訓の里数名)
 来年度の卒業予定生徒には、肢体障害の生徒はいないため、定員の空きがない状況です。今後の動向に、保護者の不安が大きくなっています。
- ・卒業後の学びの場として「プエルタ」への関心があります。ただし、通所の課題が大きくあきらめた方がいました。乙訓の地域での学びの場としての自立訓練事業設置を望む声があります。
- ・次へのステップアップを期待して、「エンデバー」「GOKENDO」の就労継続B型、就労継続A型に関心を寄せる方が複数おられます。「就労継続」「就労移行」のサービスを利用して一般就労への可能性を探りたいという希望も多くおられました。
 京都市の「就労移行」合同説明会へも、保護者が多く参加されました。
- ・今後、就労継続B型について、定員の関係から希望がかなえられるかどうか難しい傾向が予想されます。就労継続B型見込みの生徒数が来年度は十数名おられます。通勤支援についても課題であると思っています。
- ・入所については、乙訓には入所施設が一か所しかなく、定員がいっぱいで、待機者が多数ある状況です。今後も、入所を希望する方がおられる中、入所希望の実現がますます困難になってくる状況があります。GHも含めての課題です。また、通勤寮の役目を果たすようなGHがあることで、一人暮らしへの希望がふくらみます。
- ・地域の中学校から本校高等部に入学され、就職を希望される方が増えてきています。一般就労へ向けてのステップアップや、地域での職場開拓などの必要性が高くなっています。

卒業予定生徒数と利用サービスの見込み数について (乙訓地域)

平成27年11月 向日が丘支援学校 進路指導部

予想される進路先		生活介護				入所施設希望	就労継続B・移行	自立訓練・その他	就労継続A 就職・訓練校	合計
		肢体重複	医ケア	自閉性障害	知的障害 発達障害等					
27年度 卒業生 (高3)	向日市			1			4		2	7
	長岡京市		1	1	2		4		4	12
	大山崎町			京都市1			1			2
	計		1	3	2		9		6	21
		6								
平成28年度 卒業生 (高2)	向日市			3			5		2	10
	長岡京市	1		2	1		7		7	18
	大山崎町									1
	計	1		5	2		12		9	29
		8								
平成29年度 卒業生 (高1)	向日市				1		2		2	5
	長岡京市			1	1		6		10	18
	大山崎町								1	1
	計			1	2		8		13	24
		3								
高等部総計		1	1	9	7		28		28	74
		18								

*高2年の就労継続B・移行の12名のうち、向日市2名・長岡京市5名は課題があり流動的。(生活介護ワーク or 自立訓練)

*高2年:(長岡京)手帳なし8名・ひとり親8名、(向日)手帳なし2名・ひとり親3名

*就職見込み:3年・・・2名

2年・・・約3名

1年・・・

*Bアセス見込み:2年・・・約12名

1年・・・約8名